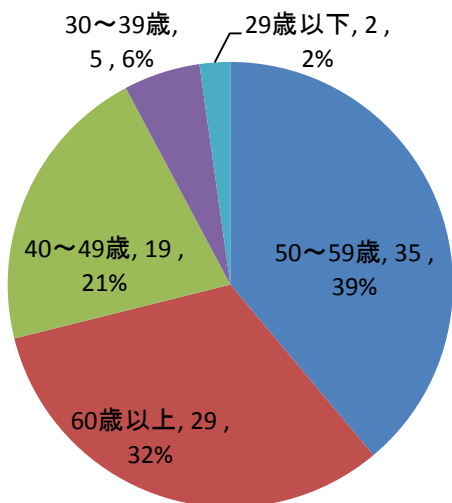


横浜ITクラスター交流会
メルマガアンケート報告書

- 実施期間：2013年5月29日(水)～6月4日(火)
- 発送件数：830件
- 回収件数：90件(回収率：10.8%)
- 質問項目：別紙のとおり
- 実施主体：横浜ITクラスター交流会事務局

1 年齢別

1年齢(90)	
50～59歳	35
60歳以上	29
40～49歳	19
30～39歳	5
29歳以下	2

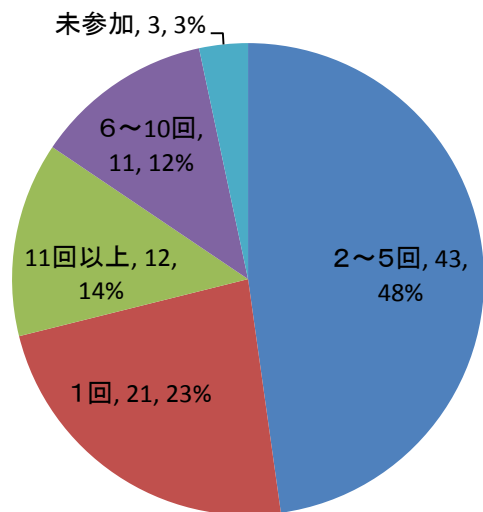


年齢別の構成では、50代が4割近くで最も多く、60歳以上も3割を超えている。続いて40代が2割強、30代は、6%にも届かず、29歳以下は2%に留まった。

これは、あくまでもアンケート回答者の属性だが、交流会の最近の状況を反映しているように思われる。

2 参加回数

2参加回数(90)	
2～5回	43
1回	21
11回以上	12
6～10回	11
未参加	3

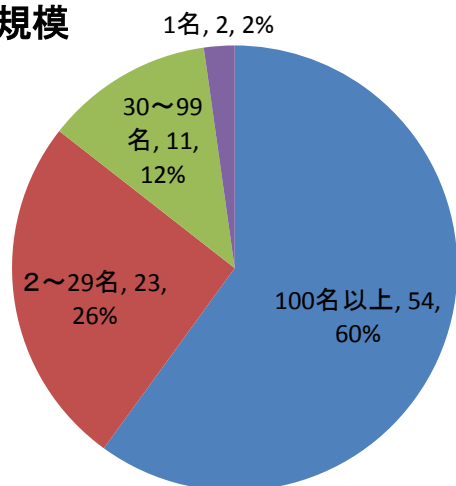


参加回数は、2回から5回が最も多く、約半数だった。1回しか参加していない回答者が、23%、両者を合計すると、70%を超え、比較的最近の参加者からの回答の比率が高かった。

11回以上の常連が、14%、6～10回の参加者が12%だった。常連組が、交流会の活動に高い関心を寄せているとは言いがたい結果となった。

*グラフ脇の表について:表頭の項目の()内はデータの総数。以下はその内訳

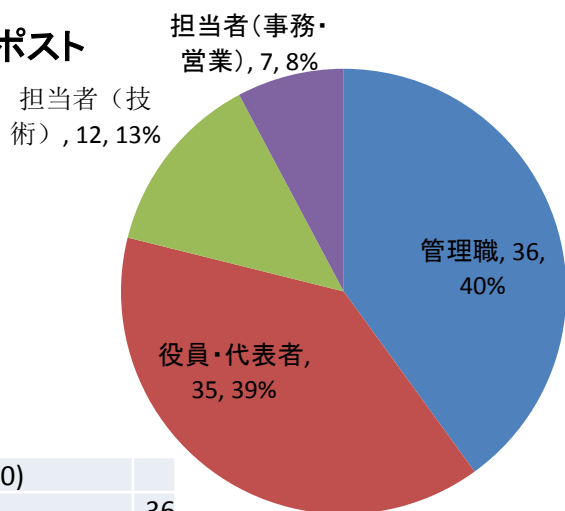
3-1 従業員規模



従業員規模は、100名以上が60%で最も多かった。回答の中には、OBも含まれているが、比較的規模の大きな企業の関係者が多かった。一方、2~29名が26%、30~99名は12%だった。

3-1企業規模(90)	
100名以上	54
2~29名	23
30~99名	11
1名	2

3-2 ポスト

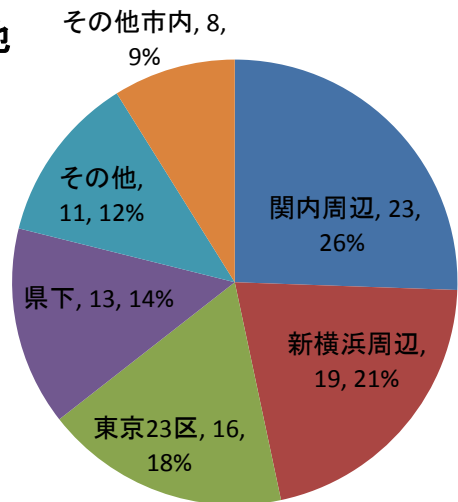


回答者のポストは、年齢構成から考えても推測ができる結果だが、管理職が最も多く、40%、ほぼ同じ割合で役員・代表者が39%、担当者クラスは、21%だった。技術系の担当者は13%、事務・営業は8%だった。

3-2ポスト(90)	
管理職	36
役員・代表者	35
担当者(技術)	12
担当者(事務・営業)	7

3-3 所在地

関内周辺	23
新横浜周辺	19
東京23区	16
県下	13
その他	11
その他市内	8



所在地は、関内周辺が最も多く26%、新横浜周辺がこれに続き、21%。東京23区、18%、県下14%だった。

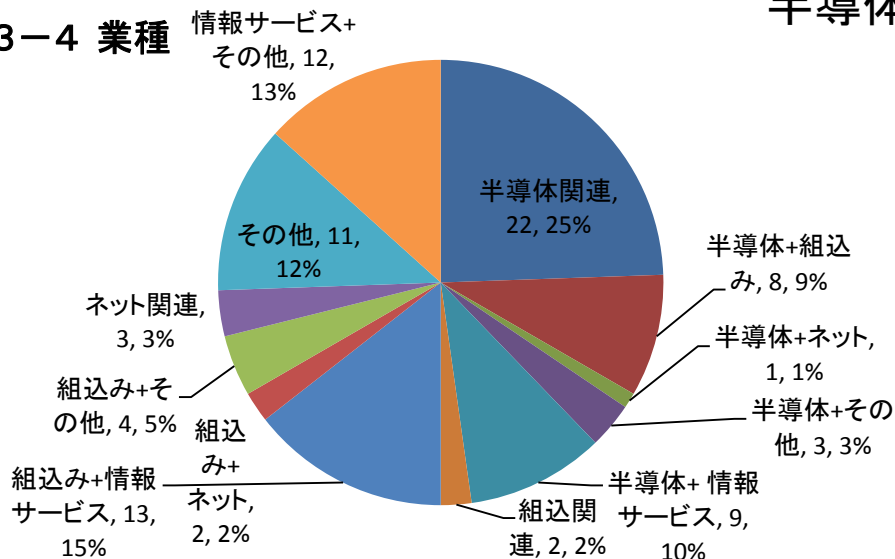
※関内周辺＝横浜市神奈川区・西区・中区・南区

新横浜周辺＝横浜市港北区・緑区・青葉区・都筑区

業種は、半導体関連が25%を占め、複数回答を可としたため、組込み等と兼業を行っているものを加えると、半導体関連だけで43名、48%に達した。組込み関連は、専業は、2名と少ないが、半導体などとの兼業を含めると29名、32%だった。

半導体関連と組込み関連をあわせると80%に達した。

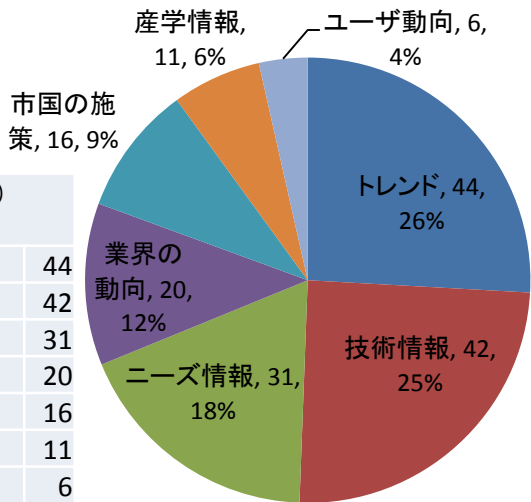
3-4 業種



半導体関連	22
半導体+組込み	8
半導体+ネット	1
半導体+その他	3
半導体+情報サービス	9
組込関連	2
組込み+情報サービス	13
組込み+ネット	2
組込み+その他	4
ネット関連	3
その他	11
情報サービス+その他	12

4 テーマ

テーマ(全体) (172)	
トレンド	44
技術情報	42
ニーズ情報	31
業界の動向	20
市国の施策	16
産学情報	11
ユーザ動向	6
海外情報	2

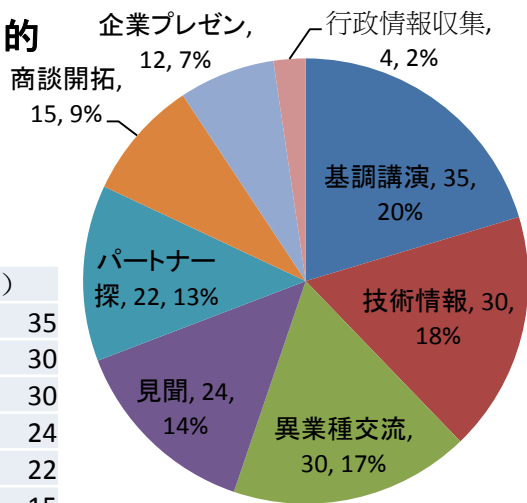


テーマについては、「ビジネストrendを取り上げたもの」が、44名、26%だった。「新技術、先端技術などの情報」は、42名、25%でほぼ同数だった。また、「環境、医療、健康などのニーズ情報」が31名、18%に達した。この3テーマの割合が高い。

以下、「業界の動向」12%、「横浜市や国の施策」9%。
※選択は2つまで可とし、回答総数172件

5 参加目的

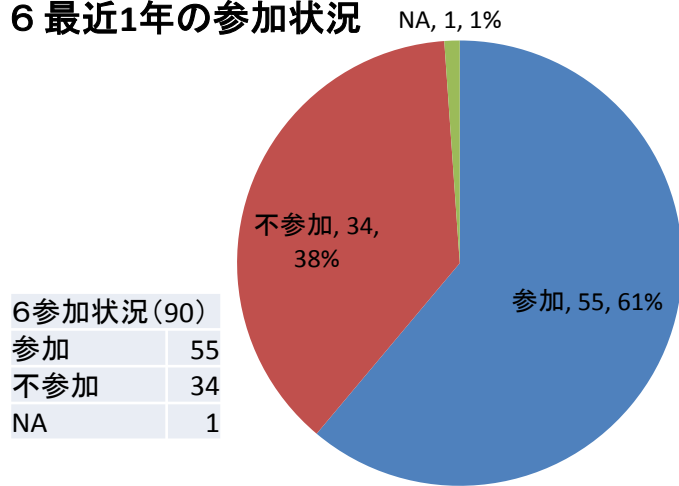
5 参加目的(172)	
基調講演	35
技術情報	30
異業種交流	30
見聞	24
パートナー探	22
商談開拓	15
企業プレゼン	12
行政情報収集	4



参加目的は、「基調講演を聴くため」35名、20%、「技術情報を収集するため」30名、18%、「異業種交流のため」30名、18%が同数だった。以下、「見聞を拡げるため」14%、「パートナー探し」が22名、13%で案外多い。

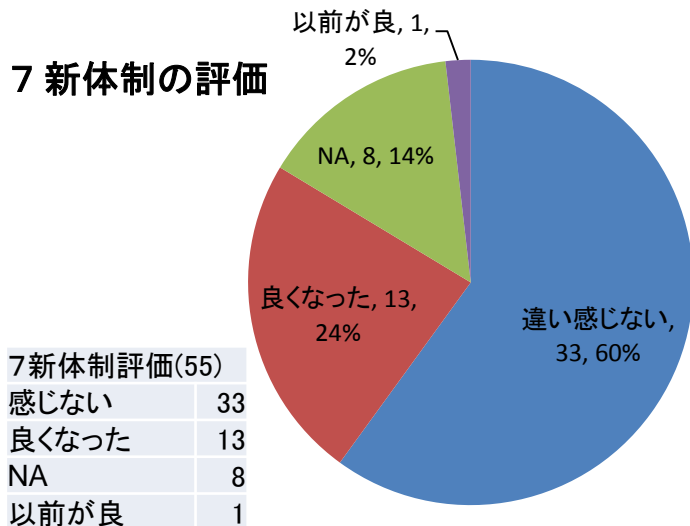
※選択は2つまで可とし、回答総数172件

6 最近1年の参加状況



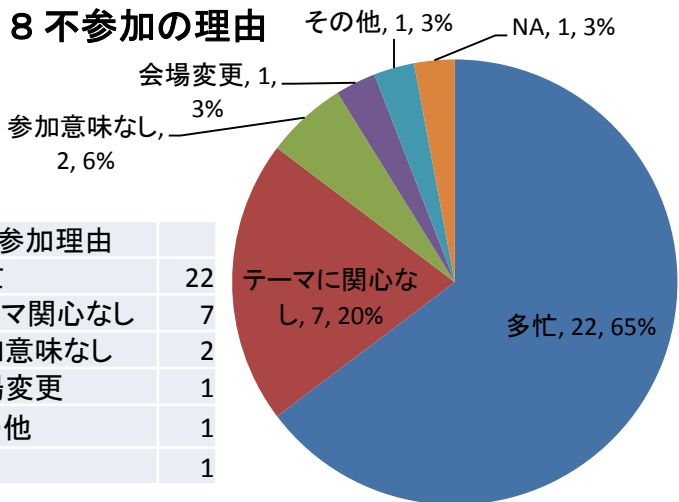
第1回交流会を含む過去1年間の参加状況は、「参加した」が55名、61%、「参加していない」が、34名、38%だった。最近参加していない関係者も、メルマガは見ていることがうかがえる。

7 新体制の評価



問6で「参加した」と回答した55名に、新体制に対する評価を聞いた。「あまり、違いを感じない」が最も多く、60%。これは、実質的には同じメンバーが裏方を務めてきたので、の反応としては、当然かもしれない。「良くなった」が、24%、「以前の方が良かった」は1名のみだった。

8 不参加の理由



問6で「参加していない」と回答した34名に不参加の理由を聞いた。

「多忙のため」が最も多く、22名、65%。「基調講演等テーマに関心がなかったため」が、7名、20%、「参加する意味がないため」が2名、6%と厳しい回答もあった。「会場が変更になったため」は1名だけだった。

●クロス集計について

次ページ以下に、基本属性別に、基調講演等開催テーマに関する希望や参加目的を集計した結果の一部をまとめ、簡単な解説をつけた。

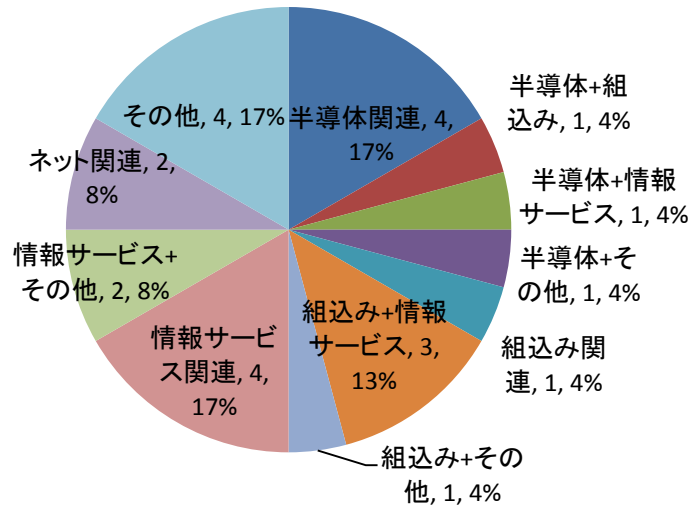
クロス集計は任意の項目同士で集計が可能だが、注目したのは、「最近の参加者と常連組との違い」や、「年齢、ポストの違いが、テーマにどのように関連するのか」、また、「半導体や組込み関連の業態は、どのようなテーマを希望し、参加目的はどのようなものであるのか」、という点などである。

●自由記入欄について

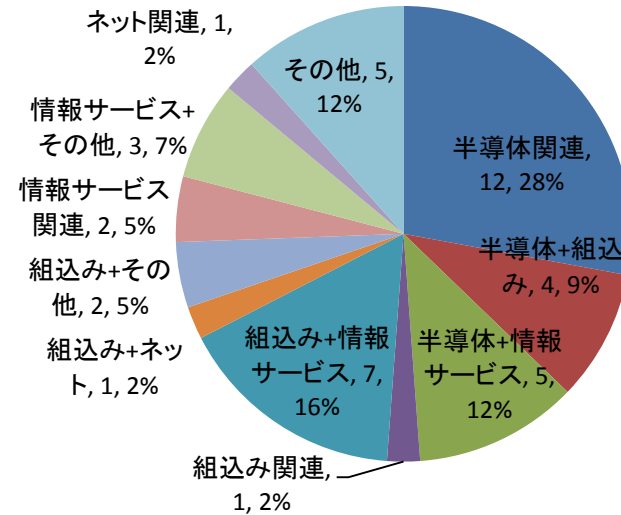
二つの自由記入欄の意見等を修正抜きで一覧にした。また、意見、提案、批判など様々な趣旨の記述があるが、整理しないでそのまま掲載した。

クロス集計結果1:参加回数別、業種別

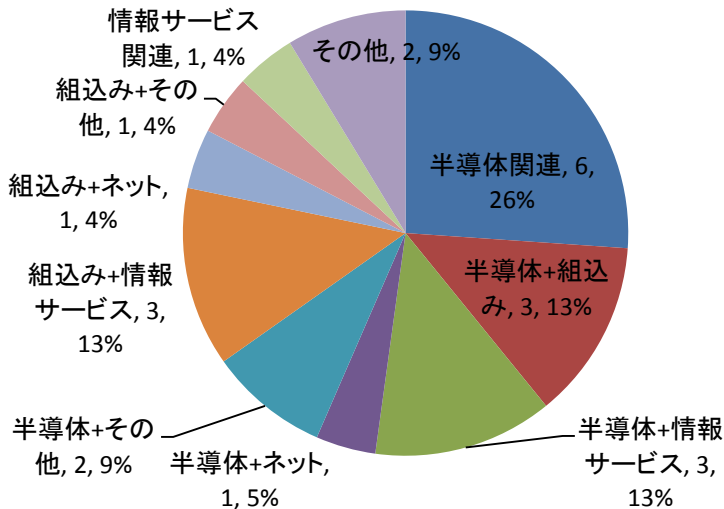
A=2×4:0-1回(24)



B=2×4:2-5回(43)



C=2×4:6回以上(23)



最近の参加者と常連との間で業種の変化が見られるのか？便宜的に、A=未参加と1回のみ、B=2～5回、C=6回以上の3グループに分けて分析した。

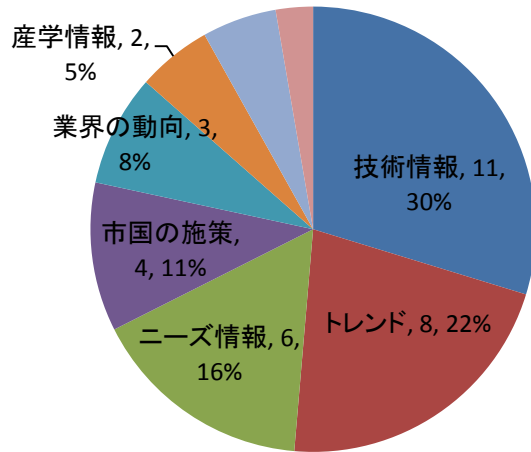
Aでは、半導体系は、25%をやや超え、組み込み系と合わせても50%に届かない。代わって、情報サービスやネット関連、その他の割合が増加している。

これに対して、Bでは、半導体系だけで49%、組み込みを加えると、75%近い。さらにCでは、半導体系だけで、66%に達し、組み込みを加えると87%に達した。

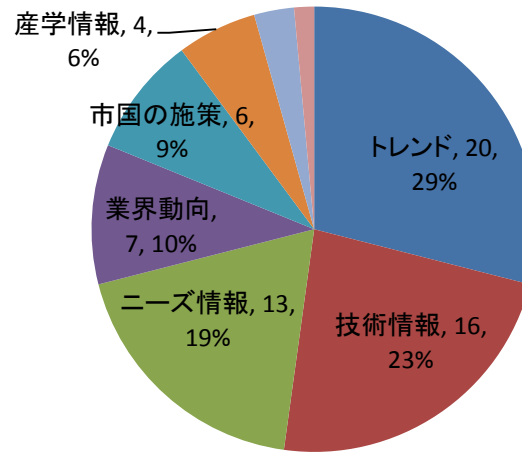
最近では、参加者の業態の多様化が進んでいる。

クロス集計結果2: 年代別、基調講演のテーマ

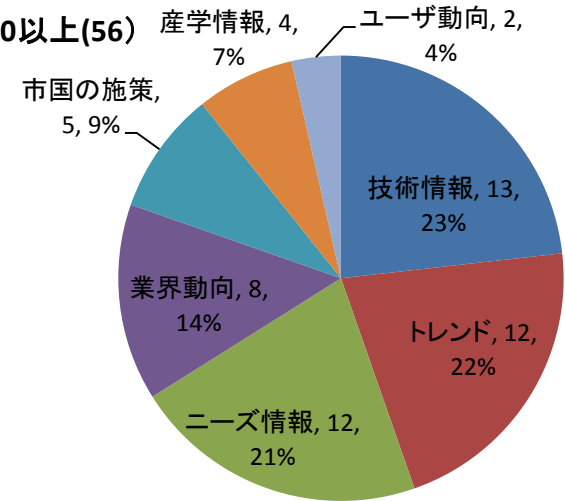
1×4:40代(37)



1×4:50代(69)



1×4:60以上(56)



年代によって、基調講演のテーマに対する期待に違いはあるのか？

総合的に見ると、テーマでは、ビジネストrend、技術情報、ニーズ情報がトップ3である。

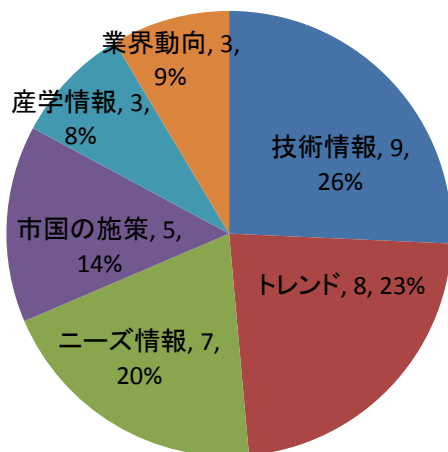
しかし、年代別にみると、40代、60代では技術情報がトレンドをやや上回っている。

40代、50代ではこの3ジャンルの割合は、トップ(30%、29%)、第2位(22%、23%)、第3位(16%、19%)でほぼ同じだが、60代では、3ジャンルの割合がほぼ同じで、23%、22%、21%となっている。

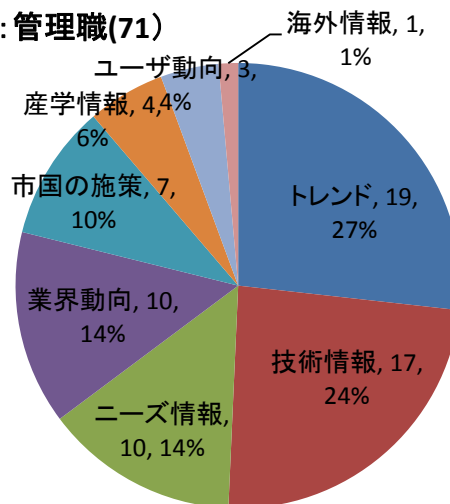
以降、3世代共通に、横浜市や国の施策、業界の動向、産学連携の情報の順だが、40代だけは、「施策」が業界動向を上回っている。

クロス集計結果3:ポスト別、基調講演のテーマ

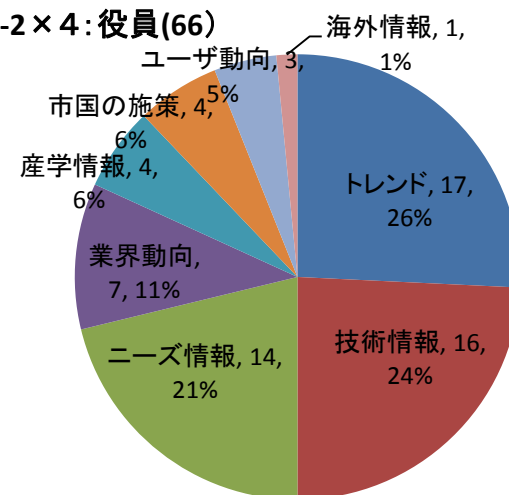
3-2×4:担当者(35)



3-2×4:管理職(71)



3-2×4:役員(66)

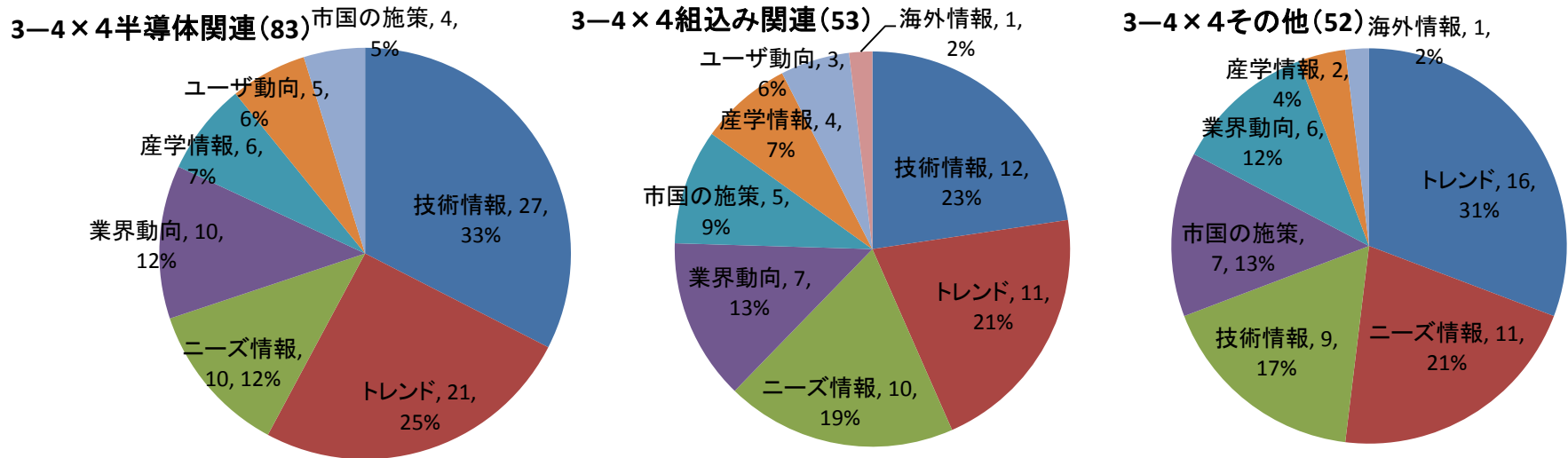


ポストによってテーマに対する期待に違いはあるのか？

ポスト別に見ると、担当者では、わずかの差だが、トレンドを抑えて、技術情報がトップだった。管理職、役員層でもトレンドと技術情報の二つのテーマは、ほぼ拮抗している。ニーズ情報は、管理職層ではやや割合が低いが、担当者、役員層では、他の二つのテーマとほぼ同じ割合となっている。

テーマのトップ3以外では、管理職、役員が、業界動向を4位にあげているが、担当者では、順位はあまり高くない。

クロス集計結果4：業態別、基調講演のテーマ



業態別に基調講演テーマに関する期待を比較してみる。

業態は、2つまで複数回答可としたため、便宜的に半導体との兼業の場合は、「半導体関連」とし、同様に組込みとの兼業は「組込み関連」とし、それ以外を「その他」とし、3グループで比較した。なお、「半導体関連+組込み」と回答した場合は、集計にあたっては、双方にカウントした。

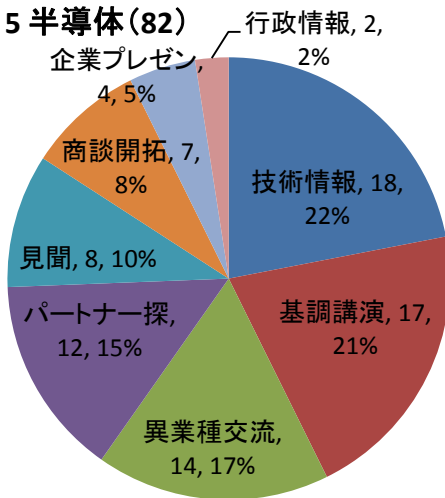
半導体関連では、技術情報がトップで27%、ビジネストrendは25%、ニーズ情報は、業界動向と並んで12%だった。

組込み関連では、技術情報が23%、トレンド21%、ニーズ情報19%とほぼ3テーマが拮抗していた。半導体、組込みでは、技術情報の関する期待が高い。

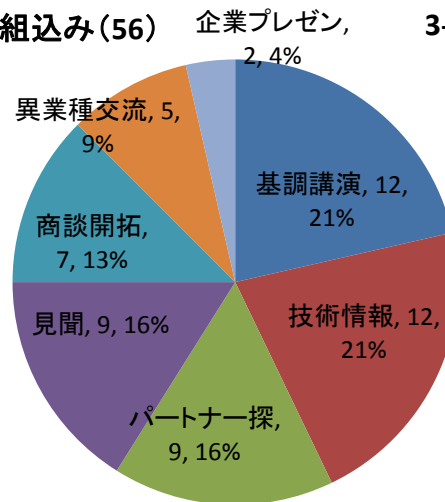
情報サービスやネット関連などの「その他」では、トレンドが31%と多く、ニーズ情報が21%、技術情報は17%で異なる傾向を見せた。

クロス集計結果5: 業態別、参加目的

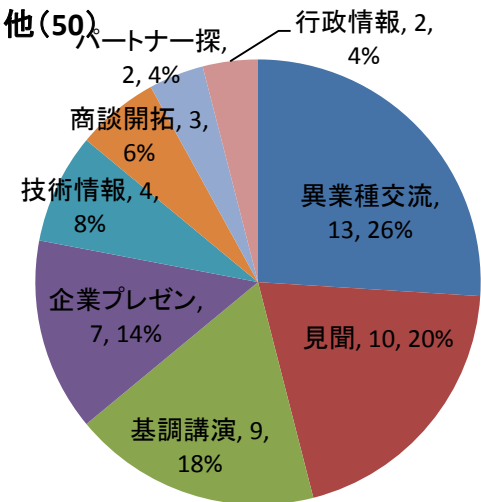
3-4×5 半導体 (82)



3-4×5 組込み (56)



3-4×5 その他 (50)



業態別に参加目的を比較してみる。

3グループの集計上の考え方等は結果4と同様である。

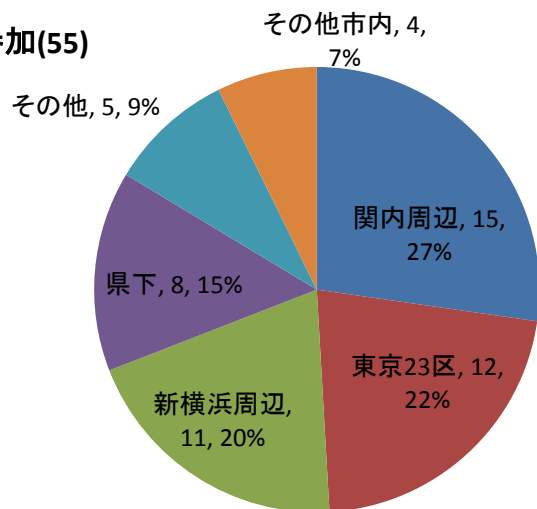
半導体関連では、技術情報の収集がトップで22%、基調講演を聴くためが、21%、異業種交流のため、17%、パートナー探しのため、15%がこれに続いている。

組込み関連では、基調講演と技術情報が21%で同数、次にパートナー探し、見聞を広めるためが同数の16%で続いた。商談を開拓するためは13%だった。

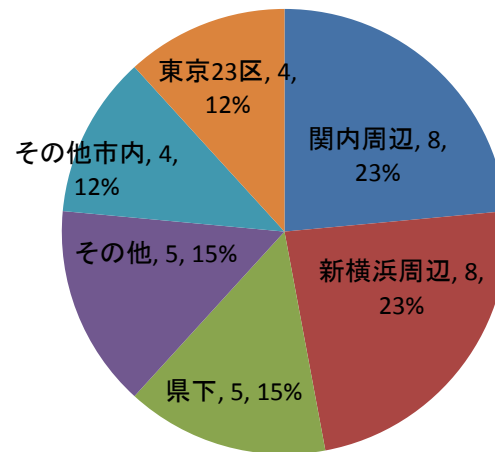
「その他」では、異業種交流のためが、26%でトップ、見聞が20%、基調講演は18%で、3位だった。企業プレゼンを聴くためが14%と多く、技術情報が8%と少ないなど、異なる傾向を見せた。

クロス集計結果6:最近1年間の参加状況と所在地

6×3-3:参加(55)



6×3-3:不参加(34)



最近1年間、交流会の参加、不参加と所在地の関係を比較してみる。
参加、不参加共に、関内地区がトップだが、最近の参加者は東京23区が2位になっている。
これに僅差で新横浜周辺が続いている。
不参加は、関内、新横浜は同数、3、4位は県下とその他地域が同数で続いている。
新横浜周辺の客離れは否めないが、全くなくなったわけではない。一方で、最近の参加者には、東京や川崎を含む県下の割合が大きい。
これまでに、関内では3回交流会を開催しているが、関内周辺では不参加が多い。
また、不参加の34名(この質問には回答しなかった1名を加えると35名)もアンケートには、回答している。

7 新体制に移行した感想(自由記入欄)

- 半導体関連に限定せず、異業種と交流できる可能性があり期待しています。
- 半導体を基軸として、自動車業界などへテーマ拡大されている。
- 特に違いを感じる出来事は無かったと思います。
- 代表および構成メンバーに変化がないので、大きな違いを感じないが、大きく変える必然性は感じていない。良いものは残し、変化が必要な個所は変えて下さい。
- 前回参加できなかったのが比較できないが、これまで以上に良くなる期待を込めて。
- 新体制になってから、まだ行事に参加できていないので違いを実感できません。(同意見あり)
- 新実行委員会の皆様の企画に期待しています。
- 初めて参加させて頂きました。プログラム構成をはじめ交流会での和やかな雰囲気のもとで幅広い方々と懇親を深めることができました。良かったと思います。
- 従来よりも、新しい分野のBz関連の講演等が聞けて良かったと思った。
- 若い方の参加がふえたような気がします。
- 事務局あるいは行政が、特定の企業者のインプットに基づいてテーマなどを決めていく感じがする。事務局、行政の基本スタンスの無さが大いに感じられる。
- 今年4月が初回のため、前回と比較ができませんが、仲むつまじく運営されていると感じました。
- 広範囲になったことで広く情報収集ができるようになった反面、半導体に関する話題や「参加者が少なくなってしまうように感じます。
- 企業間の紹介や必要技術や要求事項の交流が必要
- 横浜市在住の企業に創造性のある企業が少ないように思います。やはり東京にある外資&国内&ベンチャーがためになる。そして投資家が大変良い判断をもっている。
- 違いをこれから出していただきたいと希望しています。
- 4月の交流会が初参加のため、以前とは比較することができません。

- 通信・無線に関する講演を期待します。
- 中小企業のビジネスの成功事例のご講演は今後の支援活動での有益な情報となります。
- 新しい体制の中大変ですが、応援しております。
- 商談の機会を受身で待つのでなく、一緒になって新しい分野を開拓する気概を持った企業の参加を期待している。
- 実績のある交流会なので、これからも続けていただきたいと思います。
- 参加企業の多くが人脈交流の動機だけで、産学連携の意欲を持つ企業が少ない。
- 今後、参加を検討してみたいと考えています。
- "今後、開催日と内容をあらかじめ通知をお願い申し上げます。今後、電気通信関連は、EcoLiteネットワークやHEMSやEVや家庭用蓄電池等企業のICTを含め、益々の課題が出ており、将来の課題に取り組んで頂くことを期待します。"
- "今回、過去のイベント・アーカイブを拝見しましたが、一貫して、参加者を受身な活動に導くイベント企画に留まっていると感じました。可能なら、参加者が企業レベル、個人レベル(ユーザの立場、技術者の立場、営業員の立場、保守者の立場)などに焦点を当てたテーマ、またはディスカッション・コーナーを企画して、横浜ならではの主張を参加者(または参加企業)から発進するようなダイナミズムのあるイベントに変革していくご努力を期待したいと願っています。 拝"
- "講演会のみでの参加は無償もしくは低額にしてほしい。懇親会にあまり意味を見いだせず、お金が勿体ない。"
- 更に参加者の幅を広げて頂くとよい。
- 更なるテーマの拡張(ex. 大学/先生から最新研究テーマ/国内技術レベル/企業への要望など話して頂き交流の場とする。)

- 具体的なコラボが出来るようなスキームの場をご提供してください。
- 技術以外のテーマも取り上げて頂ければと希望します。
- "学校教育関係者です。医療とIT、ビッグデータ解析、クラウドなどの技術についてその導入事例を聞きたい。また交流会は地元とのつながりを感じられる場であり、ぜひ続けてほしい。"
- "各種交流会は多く、県や市をまたいで、ネットワーク化を進める必要があるのではないか。"
- 各社の要求事項をマッチングさせるような交流会を実施を希望します。
- 何度か参加してますが、まだまだ、話辛いです。
- "横浜市にバイアスがかかり過ぎていると思います。弊社は、逗子市にあるため歓迎されてないようにどうしても感じてしまいます。せめて神奈川全域くらいは対象に考えてくれないと。いっそ名前を神奈川ITクラスタにできないのでしょうか。"
- 運営の体制が変わり、メルマガ等も充実しており大変参考になります。
- 異業種交流の「場」として価値があると考えています。
- 以前のテーマは「半導体関連」への偏りがみられました。最近のように、幅広いテーマ選定を希望しています。
- もちろん、参加者は個人ですが、個人参加なのか？法人参加なのか？をもう少し鮮明にした方がよいと思います。何か中途半端な気もします。
- エンドユーザを含めた異業種交流会を希望します。
- 7、のコメントの通りです。「新横浜IT」の初期は明確なコンセプトがあった。後半から、「横浜IT」に変わってから、偏った方々の意見に寄り添って、続けている感じが強くなります。